

令和4年度

事 業 報 告

(令和4年1月1日～令和4年12月31日まで)

公益社団法人競走馬育成協会

令和4年度 事業報告

公益社団法人競走馬育成協会

概況

令和4年度もコロナに加えてロシアのウクライナ侵攻、これらに伴うインフレなどにより世情は不安定であったが、中央競馬は中断することなく開催され、競馬場の入場制限緩和、タイトルホルダー、スターズオンアースやイクイノックスのG I連勝、新人の今村聖奈騎手の活躍などの話題もあり、売得金は前年比105.3%を記録した。

セリ市場も好調が続いているが、協会が支援する2歳トレーニングセールはコロナ以降に導入された方式、すなわち千葉はオンラインオークション、北海道とJRAブリーズアップセールはハイブリッド方式で開催され、いずれも活況であった。このような中、当協会も「ウイズコロナ」時代への適応を試みながら、各施策にあたった。

育成技術講習会については、東北と九州では昨年に引き続き開催、2年連続で中止となった北海道も感染対策に配慮した上で再開することができた。一方、関東および関西は感染拡大の危惧から中止のやむなきに至った。

就業者参入促進事業（BOKUJOB）では、上半期に予定していた見学会やフェアは前年に続いて取り止めたものの、「研修コース体験入学会」は開催、「夏休み牧場で働こう体験会」も3年ぶりに再開した。一方、令和2年度から実施している「Web相談会」を通年で実施したに加え、その拡大版と位置付けられる「Webフェア」を計5回開催した。

競走馬育成技術表彰は、会員育成馬の勝利数および該当率が引き続き高水準を維持しており、会員牧場の育成技術の高さが窺えた。また、競馬場における表彰式を、計画した2歳重賞競走でコロナ前同様に実施した。

その他、修学奨励金交付、競馬関連機材等有効活用、利子補給、協会誌発行等を例年通り実施した。

1. 軽種馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導

1) 育成技術講習会の開催（公益事業）

例年、軽種馬の生産、育成、調教に関する知識習得と技術向上を目的とし、当協会の5地区においてJRAおよび公益財団法人軽種馬育成調教センター（BTC）との連携・共催による講習会を開催し、会員のみならず一般からの参加も得ている。令和2年および3年度は、新型コロナウイルスの影響により小規模の東北と九州地区のみでの開催となったが、本年については北海道地区も再開できた。一方、関東および関西地区は、主催者であるJRAの判断により会員の参加は見送られた。他には、生産育成技術に関する講習動画の協会ホームページへの掲載や、会員のJRA主催オンラインセミナー参加の手配を行った。

2) 競走馬育成調教技術表彰事業（公益事業）

競走馬の育成調教の技術向上、育成調教者の経営基盤強化および意欲増進を図るため、成績優秀な競走馬の育成者を表彰した。

表彰対象 560 競走のうち、59 会員の育成馬が優勝した 351 競走について表彰を実施した。表彰の該当率は 62.7%、とくに 2 歳新馬競走で 80.9%、2 歳重賞・リステッド競走では 90.0%と引き続き高い水準にあり、会員が業務に精励した成果が表れた。さらに、3 年ぶりに再開した開催場における育成協会会長表彰の対象である 2 歳ステークス競走 6 競走（札幌・函館・新潟・小倉・京王杯・デイリー杯）でも、新潟を除く 5 競走で会員の育成馬が優勝し、会員の高い育成技術の証左となった。

	表彰対象 競走数	前年比	会員優勝馬 表彰該当数	前年比	該当率	前年比
3 歳新馬競走	45	±0	39	+5	86.7%	+11.1P
2 歳新馬競走	256	+4	207	+2	80.9%	-0.5P
2 歳重賞 ・リステッド競走	20	±0	18	-1	90.0%	-5.0P
3 歳以上重賞 ・リステッド競走	176	-1	60	-15	34.1%	-8.3P
障害重賞競走	10	±0	1	+1	10.0%	+10.0P
上記以外の 平地オープン競走 (2・3 歳限定を除く)	53	±0	26	+6	49.1%	+11.3P
計	560	+3	351	-2	62.7%	-0.7P

2. 軽種馬の育成調教に関する調査及び研究（公益事業）

競走馬の育成調教技術の向上と牧場環境の改善に資するため、育成牧場における調教、施設、経営、人材の実態を調査した。なお、過去の調査結果は協会ホームページに掲載し、公表している。

3. 軽種馬の育成調教に係わる人材の確保・養成に関する支援（公益事業）

1) 生産育成調教牧場への就業者参入促進事業（BOKUJOB）

競走馬の生産育成分野で働く人材の確保を目的とし、当協会をはじめとした 5 団体で構成する牧場就業促進事務局（BOKUJOB 事務局）が事業を行った。

令和 4 年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「BOKUJOB メインフェア」「BOKUJOB 関西フェア」「牧場見学会」の実施を見合わせ、代替策として「Web 相談会」、「Web フェ

ア」を開催した。一方、「牧場で働こう体験会」および「研修コース合同体験入学会」は計画のとおり実施した他、競馬場の入場制限緩和に伴ってサポートデスクを再開した。

① 牧場就業促進ウェブサイトの運営と保守管理

BOKUJOB ウェブサイトは、コロナ禍で訪問者が増加、令和元年のリニューアルによりスマートフォンからのアプローチが容易となったため、令和4年度も70%以上がスマホ利用者であった。

	延べ訪問者数	新規訪問者数	新規訪問者数 スマホ利用者内数	スマホ利用率
令和4年	260,462	164,645	124,402	75.1%
令和3年	274,561	186,256	140,402	75.4%
令和2年	203,603	136,393	107,416	78.8%
令和元年	138,613	84,618	64,592	76.3%
平成30年	115,610	69,355	50,279	72.5%
平成29年	133,912	81,357	54,151	66.6%
平成28年	148,923	88,473	54,641	61.8%
平成27年	160,488	87,994	51,302	58.3%
平成26年	157,194	54,585	28,722	52.6%

※ 平成30年は1~10月の旧サイトと11~12月の新サイトの合計

② サポートデスク

令和4年度は、インターハイ馬術競技会（静岡県）や日本学校農業クラブ全国大会（福井県、石川県）に加え、新たにノーザンホースパーク（北海道）や国体（栃木県）の馬術競技会場にブースを開設した。競馬場でも3年ぶりに再開し、BOKUJOB活動を広報するとともに牧場業務に関する相談を受け付けた。

	開催日	来場者			
		令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
ノーザンホースパーク	5月20~22日	60			
	6月17~19日	82			
	7月22~24日	53			
	8月8~10日	135			
	9月16~18日	128			
御殿場市馬術スポーツセンター	7月23~24日	42	45		52
札幌競馬場	8月13~14日	39			17
小倉競馬場	9月3~4日	43			51
中京競馬場	9月10~11日	44			26
東京競馬場	11月19~20日	92			

阪神競馬場	12月3～4日	59			
地方競馬教養センター	10月8～9日	155			
日本学校農業クラブ全国大会	10月26～27日	175	176		8

※ 令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により全てのサポートデスクを中止。

③ 牧場で働こう体験会

夏休み期間を利用して5泊6日の日程で牧場での就業体験、BTCとJBBAでの研修体験、施設見学等の機会を提供した。参加者には事前にPCR検査受検を求め、最寄りのホテルから牧場まで送迎した。

- ・ 7月31日（日）～8月5日（金） 参加者数13名
- ・ 体験受入牧場：杵臼牧場、谷口牧場浦河育成センター、笹島智則牧場、岡田牧場目名共同トレーニングセンター、グランド牧場

④ BOKUJOB号（就業体験応援バス）

牧場での就労体験を促進するため、「牧場で働こう体験会」の落選者および個別の牧就業体験希望者を対象に、新千歳空港と日高地区を結ぶ送迎バスを運行した。

- ・ 8月1日（月）新千歳空港→浦河 参加者2名
- ・ 8月6日（土）浦河→新千歳空港 参加者1名

⑤ 研修コース合同体験入学会

牧場での就業に必要な技術や知識の習得を目的にBTCやJBBAでの研修受講を検討している者を対象に、体験入学会を実施した。募集は各回15名とし、カリキュラム体験、教官や研修生との交流を通じ、研修を具体的にイメージできるような内容とした。

- ・ A日程 7月20日（水）～22日（金）
- ・ B日程 8月17日（水）～19日（金）

⑥ Web相談会、Webフェア

コロナ禍のため中止した対面式相談会に代えて引き続き実施した。

・ Web相談会

令和2年度後半にビデオ会議ツール（Zoom）を使用した個別面談形式の相談会を開始、令和3年度からは要望に応じて通年で開催している。

・ Webフェア

メインフェアと関西フェアの代替イベントとして引き続き開催した。イベントとして集中的に広報展開するとともに、面談を効率よく実施するため新たに特設マッチングサイトを運用した。

Webフェアの期間中は参加牧場およびBOKUJOB関連団体の「職場・活動紹介」「求

人・募集アピール」「Web 講演会」等の動画をウェビナーとして「BOKUJOB YouTube チャンネル」で生配信するとともに、同チャンネルのアーカイブとして牧場就業を目指す者のための情報資源として活用した。

Web フェア（6月）

実施日・場所：6月4日（土）・5日（日） 新ひだか町コミュニティセンター
6月11日（土）・12日（日） 競走馬育成協会（新橋）
6月18日（土）・19日（日） 競走馬育成協会（新橋）
6月25日（土）・26日（日） JBBA九州種馬場

方 式：特設マッチングサイトによる個別面談（1面談約30分）

就業相談希望者：64名（内58名が延べ215面談）

参加団体：18牧場、4団体（研修機関等）

Web フェア（秋）

実施日・場所：11月3日（木）・5日（土）・6日（日） 競走馬育成協会（新橋）

方 式：特設マッチングサイトによる個別面談（1面談約30分）

就業相談希望者：37名（内26名が延べ114面談）

参加団体：15牧場、4団体（研修機関等）

⑦ BOKUJOB YouTube チャンネル

就労希望者に求人牧場を詳しく知ってもらうため、紹介動画を配信。

配信期間：6月15日（水）から原則毎週水曜日に更新

配信牧場数：35牧場

内容：牧場の概要やアピールポイント等の紹介

2) 担い手育成事業

① 修学奨励金交付事業

BTC 育成調教技術者養成研修および JBBA 生産育成技術者研修の令和4年度入講生各1名に対し、修学奨励金を交付した。

② 生産育成技術者海外派遣

生産育成技術者養成機関の卒業生や、牧場従業員等の長期または短期の海外研修を支援しているが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、前年に続いて見合わせた。

4. 軽種馬の育成調教に係わる競争力の向上に対する支援（共益事業）

1) セリ市場の振興

若馬育成調教の成果が反映されやすい2歳トレーニングセールを対象に、地域団体による後援や実務援助を実施した。

2) 育成調教施設等の整備に対する助成事業

① 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業

育成施設の整備等を目的に会員が受けた融資の利子負担軽減を図るため、公益財団法人全国競馬・畜産振興会から軽種馬生産育成強化資金を受け、令和4年度は新規案件3件、継続案件14件について利子補給を実施した。

② 競馬関連機材等有効活用事業

JRA等で使用しなくなった競馬関連の機器・資材などを会員に斡旋し、有効活用した。令和4年度は2回の抽選会を実施し、馬運車1台、ウニモグ2台、トラクター2台、乗用車4台、ハロー類2台、馬場柵類1セット、発馬機3台の合計15件について募集を行い、全ての引き取りが完了した。

③ 畜産近代化リース事業

公益財団法人畜産近代化リース協会の行う畜産リース事業について、令和4年度は会員からの新規案件の申請はなかった。

5. 軽種馬の育成調教に関する情報発信（公益事業）

協会誌「いくせい」の60号（10月1日付）を発行し、会員に競走馬の飼養管理や育成技術の向上に役立つ情報を提供した。また、協会ホームページ等を通じ、育成調教に関する情報を発信した。

6. 軽種馬の育成調教に係わる国際交流（公益事業）

例年実施している海外研修を通じた情報交換や、関係団体が構成する連絡協議会の開催は、新型コロナウイルスの感染拡大により見送られた。

7. 協会の運営、組織、その他必要な監査等

1) 定時総会

2月18日 14:00～ 新橋分館 4階会議室

書面および通信を利用して要件を満たしたハイブリッド総会として開催

議案：令和3年度事業報告及び財務諸表について

令和4年度会費等の額及び徴収の方法について

理事および監事の選任について

2) 理事会

① 第1回理事会（定例）（書面決議）

1月19日 提案書の発出

1月25日 決議があったとみなされた日

議案：令和3年度事業報告及び財務諸表について

令和4年度定時総会の開催について（日程、場所、提出議案）

令和4年度総会における議決権行使書及び委任状について

令和4年度業務委託費の配分方法について

③ 第2回理事会（臨時）（書面決議）

2月4日 提案書の発出

2月11日 決議があったとみなされた日

議案：理事及び監事の選任について

④ 第3回理事会（臨時）（書面決議）

2月18日 提案書の発出

2月28日 決議があったとみなされた日

議案：副会長の選任について

⑤ 第4回理事会（定例）

12月9日 14:00～ 新橋分館4階会議室

議案：令和5年度事業計画及び収支予算について

⑥ 入会の承認に関する臨時書面理事会

3月15日 1件

12月23日 1件

3) JRAとの育成等に関する懇談会

9月30日 10:00～ JRA本部4階408会議室

懇談内容：セリ市場の動向について

育成牧場における人材確保と養成（BOKUJOB）について

育成等を取り巻く情勢について

その他

4) 協会の組織

① 会員数の動向

	北海道	東北	関東	関西	九州	計	賛助会員
令和3年12月31日	82	9	49	30	18	188	8
増加	2	0	0	1	0	3	0
減少	1	0	1	2	0	4	0
令和4年12月31日	83	9	48	29	18	187	8

② 役員の動向

令和4年度は役員の結果、以下のとおりとなった。

会長理事 栗田 晴夫 非常勤

副会長理事	佐藤 光信	常勤	常務理事兼務 (2月28日退任)
副会長理事	和田 信也	常勤	常務理事兼務 (3月1日 就任)
副会長理事	飯田 正剛	非常勤	
理事	荻野 豊	非常勤	
理事	高橋 司	非常勤	
理事	沖崎誠一郎	非常勤	
理事	中内田克二	非常勤	
理事	柏木 務	非常勤	
理事	宮島 成郎	非常勤	
理事	織田 信美	非常勤	
監事	五島 崇	非常勤	
監事	岩崎 幸治	非常勤	(2月18日就任)

⑦ 職員等の動向

令和3年12月31日	退任・転出	就任・転入	令和4年12月31日
—	—	—	—